

第1671号 2025年1月1日

☆帝国主義国、植民地従属国、「労働者国家」の階級闘争を世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！共産主義者同盟（統一委員会）

戦旗

発行所 戦旗社
編集発行人 鹿島 昂
東京都足立区練馬7-2-11
電話 03 (6876) 6136
郵便振替 00180-4-176133
http://www.bund21.org
今号 8頁 300円
年間購読料 (送料別)
購読 6,300円 密封 7,000円

今号の内容

1~5面：第一論文（情勢）
5面：共に闘う人々、団体からの
ニ〇二五年年頭のメッセージ
6~7面：2024岩国行動

革命的祖国敗北主義を貫き 戦争と反動政治を打ち破れ



「老朽原発うごかすな！」デモ行進する関電包囲大集会参加者 (12月8日 8面に報告記事)



700名が集結し辺野古新基地建設阻止の声を上げた (12月7日 辺野古 8面に報告記事)

労働者階級人民の利害に立脚し 資本・国家の横暴と対決しよう

現代世界は戦争と分断・対立の新たな一時代を迎えている。帝国主義による労働者人民に対する攻撃の強まりの一方で、資本主義の矛盾、帝国主義の世界支配の危機はますます鮮明になっている。帝国主義に支えられたイスラエルによるパレスチナ人民大虐殺、長期化するロシア・ウクライナ戦争、あるいは、米大統領選でのトランプの勝利は、そのような一時代を象徴する事態である。

まずまず不安定化する国際情勢のなかで、日本では昨年一〇月の衆議院選挙で、労働者人民の現状に対する怒りと不満の表現として、与党を構成する自民党、公明党の過半数割れという事態が引き起こされた。少数与党化した自公政権は、それにもかかわらず、侵略反革命戦争体制づくりや原発再稼働推進など、反人民的政策を引き続き推進している。

そのような情勢のなかで、プロレタリア国際主義に立脚した自国帝国主義の打倒に向けた闘いを推進していくこと、それを通して国際階級闘争の前進を号していくこと、共産主義連帯の先陣を切り拓いていくことが求められている。

共産主義者同盟（統一委員会）は同志、友人、「戦旗」読者の皆さんに対して、今号（一月一日）と次号（二月二〇日）をもって、年頭の提起を行なう。今号に第一論文（情勢）を、次号に第二論文（総括、方針、党建設）を掲載していく。二〇二五年階級闘争を共に全力で闘い抜こう。

世界情勢

戦争と分断・対立の 一時代

われわれは現代世界の歴史的な変動の渦中にある。資本主義の不均等発展が加速するなかで、米帝の歴史的没落の趨勢は年を追うごとにますます鮮明となってきた。他方、中国の世界的な大國としての台頭とそれを中心としたBRICSの拡大、グローバルサウス諸國の政治的・経済的な台頭などに、世界の「多極化」と呼ばれるような状況が現出しつつある。そのなかで、帝国主義の生き残り戦略、巻き返し戦略が、地域・世界の政治的・軍事的緊張の激化と戦乱をもたらしている。それはまた、資本主義の矛盾の拡大、G7に代表される帝国主義による世界支配体制の危機的かつその深化を意味している。

このような状況のなかで、二〇二三年に始まったロシア・ウクライナ戦争、一年を超えて続くシオニスト

国は、巨額の財政出動によって独占資本の救済に向かった。それは危機の時代における国家の役割をあらためて示すものであった。今日では、継続する米中の関税合戦や、いわゆる「同盟国」・同志国内で完結するサウジアラビアの構築」に向けた動きが示すように、経済への国家の介入がいっそう強められている。全世界を舞台にした資本の野放図な展開は、その結果として国家の介入による資本の一般化の傾向・指向が大きく制約される事態を生み出した。

この過程はまた、世界と社会の分断・対立がますます拡大する過程でもあった。米帝「バイデン政権は、中国・ロシアとの対立を念頭に、民主主義、専制主義」のスローガンを掲げ、世界に分断線を引き起こしてきた。しかし、帝国主義諸國が掲げてきた「民主主義」や「人権」といった「共通の価値観」の欺まらなさが、より鮮明となっている。貧困と格差を背景にして、帝国主義諸國においては移民排斥を掲げる極右・排外主義勢力が台頭し、ヨーロッパのいくつかの國で政権の座に就いた。米国ではトランプが勝利する事態が生み出された。帝国主義諸國との政治的・軍事的連携を強めてきた韓国大統領・尹錫

一面から

「米大統領選でのトランプの勝利」は、敗戦後、拡大する社会の... 終わりを告げた「ドイツやフランスでの連立政権の崩れ...」

米大統領選でのトランプの勝利

こうしてなかで行われた昨年一月の米大統領選挙でトランプの勝利は、工業地帯の相対的凋落... 選挙戦からのバイデンの撤退によって、最終的に...



尹錫悦大統領による非常戒厳布告に抗議しソウルの国会前に結集した韓国民衆 (12月4日 共同通信)

「米大統領選」は、米国内を再び偉大な国にする... トランプが再び大統領の座を獲得したことは、それ自体が米帝の国際的地位の相対的低下を示すものである...



大統領退陣を叫ぶ労働者大会参加者(11月9日 ソウル)

パレスチナ人民の闘いに連帯を

イスラエルのパレスチナ人民大虐殺は、すでに二年以上にわたって続いている... パレスチナ人民の闘いに連帯を

「パレスチナ人民の闘いに連帯を」... 連帯を

「パレスチナ人民の闘いに連帯を」... 連帯を

「パレスチナ人民の闘いに連帯を」... 連帯を

「パレスチナ人民の闘いに連帯を」... 連帯を

「パレスチナ人民の闘いに連帯を」... 連帯を

「パレスチナ人民の闘いに連帯を」... 連帯を

ロシア・ウクライナ戦争

ロシア・ウクライナ戦争... 膠着する



イスラエル・ネタニヤフ政権によるパレスチナ人民虐殺を徹底弾劾する

「アジア版NATO」の形成を許すな... 形成を許すな

「アジア版NATO」の形成を許すな... 形成を許すな

「アジア版NATO」の形成を許すな... 形成を許すな

「アジア版NATO」の形成を許すな... 形成を許すな

「アジア版NATO」の形成を許すな... 形成を許すな

「アジア版NATO」の形成を許すな... 形成を許すな

「アジア版NATO」の形成を許すな... 形成を許すな

「アジア版NATO」の形成を許すな... 形成を許すな



米大統領に再選されたトランプ

「アジア版NATO」の形成を許すな... 形成を許すな



コロンビア大学のキャンパスにテントを張り、パレスチナの解放を求める学生ら (2024年4月22日 アメリカ)

二面から

石破が昨年九月の自民党総裁選を前にして自らの政策集のなかで掲げた「アジア版NATOの創設」については「時期尚早」などと評論され、石破自身も自らの政権の政策としては言及していない。しかし、石破がその政策集のなかで想定したような単一の多国間共同安保機構の形ではなく、複数の安保協力体制を重層的に重ねていくという動きは、現実に行われている。安藤三文書の下で急速に進む日本帝国主義の戦後体制づくりに、石破が再び力を入れている。アジア太平洋地域において、かつてASEAN(東南アジア条約機構)が存在した。ベトナム戦争で米帝の敗北によってそれが解体し、この地域を「自由なるアジア」のような多国間共同安保機構の存在がなくなった。日本帝国主義がかつての日本帝国主義がかつての侵略戦争・植民地支配・朝鮮に対する明確な謝罪と被害者への賠償を行ってこなかった。石破が昨年九月の自民党総裁選を前にして自らの政策集のなかで掲げた「アジア版NATOの創設」については「時期尚早」などと評論され、石破自身も自らの政権の政策としては言及していない。しかし、石破がその政策集のなかで想定したような単一の多国間共同安保機構の形ではなく、複数の安保協力体制を重層的に重ねていくという動きは、現実に行われている。安藤三文書の下で急速に進む日本帝国主義の戦後体制づくりに、石破が再び力を入れている。アジア太平洋地域において、かつてASEAN(東南アジア条約機構)が存在した。ベトナム戦争で米帝の敗北によってそれが解体し、この地域を「自由なるアジア」のような多国間共同安保機構の存在がなくなった。日本帝国主義がかつての日本帝国主義がかつての侵略戦争・植民地支配・朝鮮に対する明確な謝罪と被害者への賠償を行ってこなかった。



泥沼化するウクライナ戦争

アジア太平洋地域が帝國的・地域的覇権をめぐる争いの最大舞台、その死活的な争動に対する闘いは、アジア太平洋地域の労働者人民の当面する第一級の共通課題である。軍事制の拡大を帝國的・地域的覇権をめぐる争いの最大舞台、その死活的な争動に対する闘いは、アジア太平洋地域の労働者人民の当面する第一級の共通課題である。

国際階級闘争の前進を

国際階級闘争がますます激しく前進していることがますます明らかになってきた。帝國的・地域的覇権をめぐる争いの最大舞台、その死活的な争動に対する闘いは、アジア太平洋地域の労働者人民の当面する第一級の共通課題である。

日本・国家に対する国際的階級闘争の前進を勝ち取って、いかに国際階級闘争の共通課題を、帝國的・地域的覇権をめぐる争いの最大舞台、その死活的な争動に対する闘いは、アジア太平洋地域の労働者人民の当面する第一級の共通課題である。

国内情勢

解散・総選挙

自公過半数割れ

二〇二四年一月、解散・総選挙が行われ、自公政権は過半数を割った。示す事態になっている。金田勝一は、首相指名選挙で野党は足元の腐敗に審判が下り、口並みをとるべきことができた。このため、政権は引き継ぎ自公が担当することになった。

労働者人民の現状と日本資本主義。物価上昇が止まらない。前年同月比2.4%の物価上昇が続いている。要因は、連年続く猛暑の夏による複数年のコロナ危機明けの生産回復による世界的な低下、米価の高騰も原因の一つである。



過半数割れの石破政権

最低賃金。中小企業を働く労働者や非正規雇用労働者の賃上げが進まない中で最低賃金の重要性がますます高まっている。二〇二四年七月、五日、中央最低賃金審議会は過去最大となる全国一律五円増を答申した。この増額を踏まえて、二〇二四年の春闘では、原価回復、経済安保による市場の閉じ込め、上乗せ強化。



2024年11月に再稼働を強行した女川原発2号機

四面へつづく。労働者人民の現状と日本資本主義。物価上昇が止まらない。前年同月比2.4%の物価上昇が続いている。要因は、連年続く猛暑の夏による複数年のコロナ危機明けの生産回復による世界的な低下、米価の高騰も原因の一つである。

四面から

違法捜査の合法化とし、共謀罪・特定秘密保護法・重要土地規制法、セキ...

労働者階級人民の反撃

攻撃は激しく、情勢は厳し。しかし、民衆の希望は、闘いにこそある。決してや...

共に闘う人々、団体からの二〇二五年年頭のメッセージ

労働者・庶民の思いを物質化し、未来への展望を拓くのは共産主義

共産主義者同盟首都圏委員会 幾瀬仁弘

二〇二五年の年初に『戦旗』読者のみなさんに連帯のあいさつを送ります。

昨年米大統領選挙では、トランプが再び政権の座に...

憲法改正の是非は、憲法裁判所(適用除外)の拡大、過半数労働組合や労働者代表...

反撃

いから明らかになる。攻撃は激しく、情勢は厳し。しかし、民衆の希望は、闘いにこそある。

共に闘う人々、団体からの二〇二五年年頭のメッセージ

労働者・庶民の思いを物質化し、未来への展望を拓くのは共産主義

共産主義者同盟首都圏委員会 幾瀬仁弘

二〇二五年の年初に『戦旗』読者のみなさんに連帯のあいさつを送ります。

昨年米大統領選挙では、トランプが再び政権の座に...



関生「京都三事件」の完全無罪を勝ちとろう 京都地裁前アピール行動 (9月12日)

再編成は三車塚において、第三号道路建設、空港機...

反撃

いから明らかになる。攻撃は激しく、情勢は厳し。しかし、民衆の希望は、闘いにこそある。

共に闘う人々、団体からの二〇二五年年頭のメッセージ

労働者・庶民の思いを物質化し、未来への展望を拓くのは共産主義

共産主義者同盟首都圏委員会 幾瀬仁弘

二〇二五年の年初に『戦旗』読者のみなさんに連帯のあいさつを送ります。

昨年米大統領選挙では、トランプが再び政権の座に...

共産主義者同盟(統一委員会) 綱領・規約集 (2018年改訂版) 結成大会宣言 改訂綱領 戦術・組織マニュアル 規約 2021年3月発行 定価 500円

反撃

いから明らかになる。攻撃は激しく、情勢は厳し。しかし、民衆の希望は、闘いにこそある。

共に闘う人々、団体からの二〇二五年年頭のメッセージ

労働者・庶民の思いを物質化し、未来への展望を拓くのは共産主義

共産主義者同盟首都圏委員会 幾瀬仁弘

二〇二五年の年初に『戦旗』読者のみなさんに連帯のあいさつを送ります。

昨年米大統領選挙では、トランプが再び政権の座に...

再編成は三車塚において、第三号道路建設、空港機...

反撃

いから明らかになる。攻撃は激しく、情勢は厳し。しかし、民衆の希望は、闘いにこそある。

共に闘う人々、団体からの二〇二五年年頭のメッセージ

労働者・庶民の思いを物質化し、未来への展望を拓くのは共産主義

共産主義者同盟首都圏委員会 幾瀬仁弘

二〇二五年の年初に『戦旗』読者のみなさんに連帯のあいさつを送ります。

昨年米大統領選挙では、トランプが再び政権の座に...

再編成は三車塚において、第三号道路建設、空港機...

反撃

いから明らかになる。攻撃は激しく、情勢は厳し。しかし、民衆の希望は、闘いにこそある。

共に闘う人々、団体からの二〇二五年年頭のメッセージ

労働者・庶民の思いを物質化し、未来への展望を拓くのは共産主義

共産主義者同盟首都圏委員会 幾瀬仁弘

二〇二五年の年初に『戦旗』読者のみなさんに連帯のあいさつを送ります。

昨年米大統領選挙では、トランプが再び政権の座に...

再編成は三車塚において、第三号道路建設、空港機...

反撃

いから明らかになる。攻撃は激しく、情勢は厳し。しかし、民衆の希望は、闘いにこそある。

共に闘う人々、団体からの二〇二五年年頭のメッセージ

労働者・庶民の思いを物質化し、未来への展望を拓くのは共産主義

共産主義者同盟首都圏委員会 幾瀬仁弘

二〇二五年の年初に『戦旗』読者のみなさんに連帯のあいさつを送ります。

昨年米大統領選挙では、トランプが再び政権の座に...

12・8
とめよう！ 原発依存社会への暴走
関電包囲大集会に六五〇名結集



「老朽原発動かすな」「すべての原発を廃炉に」関西電力本店前で包囲大集会 (12月8日)

一月八日、関西電力本店前で「とめよう！ 原発依存社会への暴走」をテーマにした関電包囲大集会が開催され、約六五〇人が集まった。主催は「原発反対の会」で、実行委員会は「原発反対の会」代表の藤井順子さんが中心。藤井さんは「原発は安全ではない。事故はいつ起こってもおかしくない。廃炉を求めよう」と訴えた。また、福井県小浜市の中野哲夫さんも参加し、「原発は安全ではない。事故はいつ起こってもおかしくない。廃炉を求めよう」と訴えた。関西電力の原発は、福島第一原発事故以後廃炉になったが、七基がフル稼働し、使用済核燃料を増やし続けている。いまや若狭は原発銀座から核のゴミ銀座に変貌しつつある。いま国内の全原発を止めよう、すでに原発を止めよう。」

続いて、前市長の尾道雄二さんが次のように発言した。「世界の科学や技術をもってしても原子力エネルギーは制御できない。いままも原子力緊急事態宣言は解除されておらず、汚染水も止まっていない。テロリ撤去もまったくない。進んでいらない。能登半島地震は原発の存在の恐怖をあらためて感じさせた。避難計画は実態を知らない。薄っぺらでまかしの原子力行政を糾弾しなければならない。お金と利権にまみれた原発政治をやめさせ、私たちの未来をつくらう。」

大阪府では、先の衆議院選挙の結果に懸念を持たれたこと、また、国に頼らないで、市民の行動の高揚による、原発のない人の命と尊厳が大切にされる社会を「原発ゼロ」を掲げよう。さらに、青森の核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会の中道雅史さん、井戸謙一さん、裁判闘争運動の団体、政策、労働組合のアピールなどが続いた。集会は、関電本社に向けたシュプレヒコールで集会は締めくくられた。

尾道雄二さん(前市長)の発言から、先議院選挙の結果に懸念を持たれたこと、また、国に頼らないで、市民の行動の高揚による、原発のない人の命と尊厳が大切にされる社会を「原発ゼロ」を掲げよう。さらに、青森の核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会の中道雅史さん、井戸謙一さん、裁判闘争運動の団体、政策、労働組合のアピールなどが続いた。集会は、関電本社に向けたシュプレヒコールで集会は締めくくられた。

12・1 大分
「ミサイルも弾薬庫もない！」
「平和をめざすついで」に500人結集



九州、沖縄、関西、首都圏から500人が集まった (12月1日 大分市若草公園)

「サムソンの」演奏で始まった集会は、主催者挨拶をわすれないで、「さっさとミサイルも弾薬庫もいらない！ 平和をめざすついで」をテーマにした、統一メッセージがあり、後半は、大分県民協議会(大分)の代表の佐藤さん(市長)による、「一帯一府県野戦基地撤去」の問題をテーマにしたスピーチがありました。その中で、佐藤さんは「全国各地方で戦争前夜...」

「サムソンの」演奏で始まった集会は、主催者挨拶をわすれないで、「さっさとミサイルも弾薬庫もいらない！ 平和をめざすついで」をテーマにした、統一メッセージがあり、後半は、大分県民協議会(大分)の代表の佐藤さん(市長)による、「一帯一府県野戦基地撤去」の問題をテーマにしたスピーチがありました。その中で、佐藤さんは「全国各地方で戦争前夜...」

12・7
新たな土砂搬入を許さない！
七〇〇名結集し抗議の声を上げる

一月七日、毎月恒例の第四六回辺野古県民大行動が名護市辺野古キャンパス、ジュブナイル前で開催された。小雨が降る寒風の中、七〇〇名超が集まった。主催の「辺野古新基地を止めよう」の代表、元名護市長は、「宮城島からの新たな土砂搬出(一月二日)や瑞川港部設置(調査)の動きを報告し、連帯行動を訴えた。突如として始まった河川...」

「辺野古新基地建設の強行を許さない!」「大浦湾の軟弱地盤の改良工事の強行を許さない!」「日米地位協定の改定を!」「日米地位協定の改定を!」「日米地位協定の改定を!」

「辺野古新基地建設の強行を許さない!」「大浦湾の軟弱地盤の改良工事の強行を許さない!」「日米地位協定の改定を!」「日米地位協定の改定を!」「日米地位協定の改定を!」

11・30
沖縄の闘いに呼応して
国会正門前に五五〇名結集



沖縄の闘いに呼応して国会前に550名が結集 (11月30日)

一月三十一日午後、沖縄国会前アクションが開催された。五五〇名が結集し、「止めよう! 辺野古埋立実行委員会」が協賛した。「辺野古新基地建設の強行を許さない!」「大浦湾の軟弱地盤の改良工事の強行を許さない!」「日米地位協定の改定を!」「日米地位協定の改定を!」「日米地位協定の改定を!」

闘争日程

○労働組合がぶしの大座圧を許さない!
日時: 1月1日(水) 10時

○三里塚 団結旗開き&新年テモ
日時: 1月12日(日) 10時30分 テモ出発

○三里塚 団結旗開き
日時: 1月12日(日) 10時30分 テモ出発

主催: 労働組合がぶしの大座圧を許さない実行委員会

場所: 大分県警本部前

主催: 労働組合がぶしの大座圧を許さない実行委員会

場所: 大分県警本部前

日時: 1月1日(水) 10時

日時: 1月12日(日) 10時30分

12時開場 団結旗開き

主催: 三里塚山連合空港民対同盟

場所: 市東さんの畑集合

政府の強硬姿勢を弾劾する稲嶺共同代表 (12月7日)

「辺野古の環境」に関して「カヌーチーム辺野古ブル」が「奄美からの土砂搬出」に関して土砂全協・首都圏グループが発言した。「軍事性暴力」に関して、馬毛基地建設反対の住民集会実行委員会が、「日米地位協定」に関して安保破棄中央実行委員会が、「全国つ、国会正門前横断歩道を埋め尽くしてアピールしラム平和・人権・環境」が、

金城武政さん(辺野古区民)は、裁判の現状を報告し、支援強化を求めた。集会に、共同代表の寒風を吹き飛ばすガソリンパトロール、新基地阻止! への気勢を挙げた。